

人材育成と 企業支援を考える シンポジウム

宮城県内 12 の高等教育機関と自治体・企業が連携する
課題解決型プログラムと地域づくり

2016 年 10 月 8 日 (土) 13:00~16:30

[会場] トラストシティカンファレンス・仙台

仙台市青葉区一番町 1-9-1 仙台トラストタワー 5 階

入場
無料

要事前
申込

地域を担う人材の育成と、地域発展の力を持つ企業の成長支援を目的に、宮城県内 12 の高等教育機関および自治体・企業が連携して「みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成」事業に取り組んでいます。今回のシンポジウムでは、企業・学生・高等教育機関で取り組む課題解決型プログラムの事例紹介と、このプログラムを通じた人材育成と企業支援について考えます。実際にプログラムづくりをするワークショップも同時に開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

学生の成長と企業の変化を生んだ大橋量器

今回のシンポジウムでご紹介する有限会社大橋量器では、約 10 年の間に 30 名を超える学生を受け入れてきました。企業がコーディネート機関と共に大学生の課題解決型プログラムに積極的に取り組んだことで、学生の成長だけでなく、企業の新規顧客の開拓や業務拡大といった事業面での変化と若手社員の人材育成や組織の変化につながっていった具体的な事例をお伝えします。



プログラム

第 1 部 シンポジウムセッション 13:00 ~ 14:40

宮城県内 12 大学・高専が目指す企業との連携について
~ COC+ 事業の構想 ~

開会挨拶、事業概要説明 (文部科学省)

企業と学生のプログラム「課題解決型プログラムを通して創造したもの」

パネリスト

大橋 博行氏 有限会社大橋量器 代表取締役

中野 希栄氏 名古屋外国語大学 現代国際学部 国際ビジネス学科 4 年

南田 修司氏 特定非営利活動法人 G-net 共同代表

進行

松崎 光弘 地域協働教育推進機構 特任教授

第 2 部 ワークショップセッション 14:50 ~ 16:25

企業がさらに発展・成長し、学生が育つプログラムづくりとは？

概要説明・テーマ紹介

ワークショップ「企業と教育機関で課題解決型プログラムをつくる」

閉会 ※閉会後に懇親会 (16:45 ~ 18:30 会費制) を予定しています

主催：地域協働教育推進機構 〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目 3-1 (東北学院大学内)

【TEL】 022-264-6328 または 6424 【FAX】 022-264-6364 【E-mail】 jim@miyagi-coc.jp 【URL】 <http://miyagi-coc.jp/>

* 地域協働教育推進機構は 12 高等教育機関および自治体・企業が連携して行う「みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成」事業の推進組織です。
【高等教育機関】 東北学院大学、宮城教育大学、東北工業大学、石巻専修大学、尚絅学院大学、仙台大学、仙台白百合女子大学、東北生活文化大学、宮城学院女子大学、聖和学園短期大学、東北生活文化大学短期大学部、仙台高等専門学校
【自治体】 宮城県、仙台市 【企業・団体】 七十七銀行、仙台銀行、宮城県中小企業家同友会

平成 27 年度地 (知) の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+) 「みやぎ・せんだい協働教育基盤による地域高度人材の育成」

人材育成と企業支援を考えるシンポジウム

申込方法

WEB サイト <http://miyagi-coc.jp/topic/548/> より
【10月3日月曜日正午】までにお申し込みください。
不明な点がございましたら、下記事務局まで電話にてお問合せください。

お申し込みページの
QRコードはこちら →



会場へのアクセス

トラストシティカンファレンス・仙台

仙台市青葉区一番町 1-9-1 仙台トラストタワー 5階



- ・JR線 仙台駅西口より徒歩9分
- ・仙石線 あおば通駅2番出口より徒歩8分
- ・地下鉄 南北線 仙台駅南2番出口より徒歩6分
- ・地下鉄 東西線 青葉通一番町駅南1番出口より徒歩7分

※会場への詳しいアクセスは
トラストシティカンファレンス・仙台 URL をご覧ください。
<http://www.tcc-kaigishitsu.com/tcc-s/access.html>

問合せ先・事務局

地域協働教育推進機構
〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目 3-1 (東北学院大学内)
【TEL】 022-264-6328 または 6424
【FAX】 022-264-6364 【E-mail】 jimu@miyagi-coc.jp

プロフィール



大橋 博行氏

おおはし ひろゆき
有限会社大橋量器
代表取締役
<http://www.masukoubou.jp/>

1964年生まれ、岐阜県大垣市出身。日本IBMに6年勤務した後、1993年に大橋量器に入社。2005年に法人化を行い代表取締役となる。同時期に直営アンテナショップ「木工房ますや」をオープン。新商品企画など積極的に展開し、メディアでも多数取り上げられる。大垣ブランドの構築・認知拡大を目的とした活動の一環である、『大垣「ます」生産者実行委員会』の提唱者でもある。



中野 希栄氏

なかの きえ
名古屋外国語大学
現代国際学部
国際ビジネス学科 4年

大学3年生の夏休み、G-netでの2週間のインターンを通して、「日本の中小企業で働く人たちをもっと知りたい、自分がどう働けるか挑戦してみたい」と思い、半年間、大橋量器でのインターンを行うことを決意する。寝てもさめても柘のことを考え奮闘する中で、「伝統産業や木材に関わる仕事に就きたい」と考えるようになり、就職活動へ。高山の飛騨五木株式会社に就職を決める。



南田 修司氏

みなみだ しゅうじ
特定非営利活動法人 G-net
共同代表
<http://gifist.net/>

2009年に三重大学大学院教育学研究科を修了し、新卒でNPO法人G-netに加入。2013年副代表理事に就任、2015年より共同代表。長期実践型インターンシップ事業の責任者として、年間100名の学生と企業経営者とのコーディネートに携わる一方で、新規コーディネータの育成もスタート。企業目線、大学目線、学生目線のそれぞれの視点におけるコーディネートのノウハウを提供している。プロコーチとして大学での講義、学校教職員向けの研修や学生のキャリア支援にも従事。岐阜大学非常勤講師。



松崎 光弘

まつざき みつひろ
地域協働教育推進機構
特任教授

1965年大阪生まれ。34歳で私立大学の経営学部教授に就任、41歳で大阪府立青少年会館館長を勤めるなど、20年以上、一貫して若手人材育成の現場に携わる。2010年以降、内閣府、経済産業省、中小企業庁等の事業で、若手人材育成のカリキュラム開発に取り組み、複雑適応系の考え方に基づくディープ・アクティブラーニングの仕組み作りの専門家として、大学でカリキュラム改革や教職員研修に取り組み一方、企業に対しては創発型マネージャーが育つ組織づくりのコンサルティングや研修を行っている。

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただいた個人情報は「個人情報保護方針」(<http://miyagi-coc.jp/privacy/>) に従い、適切に取り扱います。個人情報は、本事業の運営等に関するご連絡の目的に限って利用し、厳重に管理いたします。